

地域密着型金融の取組み状況

(取組み期間：令和2年4月～令和3年3月)



新湊信用金庫

【地域密着型金融推進への取組みについて】

- ▶ 新湊信用金庫では、これまでも地域に密着した金融活動を経営の基本方針として取り組んで参りました。引続き、地域活性化に少しでも貢献することを目標に、本取組みを恒久的に推進してまいります。
- ▶ 今回、本取組みの基本方針とそれに基づく令和2年度中の具体的な取組み内容、成果を取り纏めましたのでご報告申し上げます。
- ▶ 当金庫としては、本取組みを引続き積極的に推進するとともに、地域活性化に少しでも貢献できるよう努めて参りますので、今後とも宜しくお願い申し上げます。

【令和2年度の取組みと成果】

1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化

① 創業・新事業への取組み

- 実現可能性の高い創業・新事業に関する案件の発掘と実現化への支援や資金面でのバックアップによる取引先企業の新事業展開などの支援を行います。
- 射水市内で創業される方もしくは新たな事業を開始される方を全面的にバックアップする取組みを強化するとともに、地域における金融機関としての役割を明確化させ、当金庫として積極的に地方創生に関与していきます。
- 地元事業者様と連携し、日本財団「わがまち基金」を活用した創業インキュベーション事業を令和元年8月（令和元年度）より開始。創業者による創意工夫を引き出し、そして地域産業を牽引する新ビジネスの開発に繋がる事業を創出するための支援を積極的に展開していきます。

具体的な取組み内容

成 果

○各店に配置した「創業・新事業支援担当者」による案件の発掘と融資支援

- 【創業先への融資】
12件（融資金額 76百万円）
- 【新事業への融資】
1件（融資金額37百万円）

※上記とは別に、創業・新事業を引続き支援している先が6先（令和3年3月末現在）あり、今後とも当金庫よりの確な支援を行いながら、創業・新事業者様を全面的にバックアップしていきます。

○金融機関として、地域における当金庫の役割を明確化させ、地域の活性化等に積極的に関与すべく、地方創生ローンを発売

- 【地方創生ローン実績】
1先（融資金額1百万円）

○地元事業者様と連携し、日本財団「わがまち基金」を活用した創業インキュベーション事業を開始

- 【入居者数（令和3年3月末現在）】
5事業者（空室2室）

具体的な取組み内容

成 果

○地元事業者様と連携し、日本財団「わがまち基金」を活用した創業インキュベーション事業を開始

○【施設内でのセミナー・イベント等】

入居者による事業計画発表会（令和2年9月24日開催）

第6回ミライズIMIZUセミナー（令和2年11月19日開催）

（講演内容）「マーケティング基礎知識とビジネスプラン作成の事業プランニング」

（講 師）プロ・ビジネス経営創庵

代表 岡田 寛 氏

第7回ミライズIMIZUセミナー（令和3年1月21日開催）

（講演内容）「スポーツビジネスと実践

＝更なる成長を目指して＝」

（講 師）株式会社アルプス

代表取締役 油谷 信隆 氏

※令和2年9月24日に開催した「入居者による事業計画発表会」の様子は、ミライズIMIZUホームページにて動画配信しております。
ぜひご覧ください。

○【ミライズIMIZUホームページ】

<http://mirise-imizu.net/>

【令和2年度の取組みと成果】

1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化

② 経営改善支援への取組み

- ▶ ビジネスマッチングやシニア人材マッチング交流会等の機会を提供し、販路拡大や売上増進ならびに様々な経営課題解決につながるよう取引先の事業活動を側面から支援します。
- ▶ コンサルティング機能を積極的に発揮し、外部専門家や認定支援機関との連携により、中小企業等の経営改善、事業再生の取組みを支援します。
- ▶ 中小企業等に対し、補助金や助成金、税制優遇等に関する無料個別相談会を中小企業診断士と連携し定期的に開催します。

具体的な取組み内容

成 果

○ビジネスマッチングやシニア人材マッチング交流会等の機会提供による取引先企業の販路拡大や経営課題解決等への支援

○外部機関・外部専門家との連携による中小企業等の経営改善、事業再生の取組みを支援

○射水市商工会議所と共同で開催した商談会「スマイルサークルとの個別商談会」に当金庫お取引先18先が参加し、販路拡大等に向けた事業者マッチング支援を行いました。また、城南信用金庫が主催する「2020“よい仕事おこし”フェア」において株式会社47CLUBが運営する特設Webサイト「日本まるごと物産展」に当金庫お取引先1先が出展し商品を出品するための支援を行いました。

○専門のコーディネーターによる経営課題の分析、課題解決に向けた総合的・先進的経営アドバイスを受けるため、当金庫お取引先4先が「富山県よろず支援拠点」を活用致しました。

具体的な取組み内容

成 果

○当金庫が企画した個別相談会を開催

○新製品開発や販路拡大を実現したい事業者様並びに設備導入を検討しておられる事業者様を対象とした「補助金個別相談会」を以下の通り開催いたしました。

【「補助金」無料個別相談会（毎週水曜日開催）】

令和元年11月から毎週水曜日に開催している「補助金」無料個別相談会に、令和2年4月～令和3年3月迄、合計23事業者様が参加されました。

○一般社団法人富山県中小企業診断協会と連携した無料経営相談会を開催

○創業1～3年未満の事業者様や、今後の事業計画が明確化していない事業者様を対象とした「無料経営相談会（一般社団法人富山県中小企業診断協会連携）」を令和2年11月4日に開催し、4先の事業者様が相談に来庫されました。

具体的な取組み内容

成 果

○当金庫が、事業再生支援先として選定した事業者様に対し、外部機関（外部専門家含む）との連携を強化するなどし、事業再生（ランクアップ）へ向け全面的にバックアップ

○経営改善の取組みを必要とする事業者様に対し、経営改善計画（早期経営改善計画含む）の策定を支援。事業者様の経営改善・生産性向上の取組みを促進

○令和2年度事業再生支援先として当金庫が選定した事業者様は13先ありますが、内1先の事業者様がランクアップを実現しました。

○令和2年度において、富山県中小企業再生支援協議会へ持込みした事業者様はいませんでした。

○令和2年度、経営改善支援センターへ持込み・支援した先は、1先（全て早期経営改善計画書／外部専門家と連携）ありました。

※早期経営改善計画書とは、中小企業庁が平成29年5月29日から開始した事業で、資金繰り管理や採算管理等の早期の経営改善を支援する為に策定する計画書です。

【早期経営改善計画書のメリット】

- ①自己の経営の見直しによる経営課題の発見や分析が可能
- ②資金繰りの把握が容易になる
- ③事業の将来像について金融機関に知ってもらう 等

【令和2年度の取組みと成果】

2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

①担保・保証に過度に依存しない融資等への取組み

担保・保証に必要以上に依存することなく、企業の事業内容や成長可能性等を適切に評価し、融資や助言等を通じて企業の成長支援に努めます。

②企業の将来性、技術力を的確に評価できる能力等、人材育成への取組み

企業への円滑な融資対応能力向上を目指して、目利き力等のスキルアップを図るために外部研修派遣、通信講座受講、庫内研修を行い、お取引先企業の支援や経営改善指導を的確に行える人材の育成に努めます。

③貸付条件の変更等の適切な対応

中小企業金融円滑化法は終了いたしました。その後も対応方針は何ら変わりなく、お客様からのお借入に関する相談、お申込みについて真摯な対応に努めております。

具体的な取組み内容

成 果

○動産・債権譲渡担保融資や資本金借入金を活用し、新規融資の促進を図ります。

○動産・債権譲渡担保融資や資本金借入金の活用はありませんでした。

※今後とも担保・保証に過度に依存しない融資等の取組みを推進すべく、積極的に動産・債権譲渡担保融資、ABL等を活用する事を検討致します。

○財務制限条項活用融資

○財務制限条項活用融資（令和2年度実績）
2件 398百万円（シンジケートローン）

※今後も大口の資金需要に対応すべく、積極的にシンジケートローンを活用する事を検討致します。

担保・保証に過度に依存しない融資等への取組み

具体的な取り組み内容

成 果

○外部研修への派遣

○【外部研修（北陸地区信用金庫協会主催）】
2020年度外部研修への派遣はありませんでした。

○庫内研修の実施

○【庫内研修】
支店長や支店長代理（融資担当役席者）、渉外担当者、
ならびに積極的にスキルアップ向上に努めている職員
を対象に、事業性評価に関連する研修を15回実施し、
「事業性評価融資」や「本業支援等」の取り組み強化を
図る為のスキル向上に努めました。

企業の将来性、
能力等、
技術力を
人材育成への
的
確に
評価
できる
取り組み

【令和2年度の取組みと成果】

3. 地域の情報収集を活用した持続可能な地域経済への貢献

① 地域全体の活性化、持続的な成長を視野に入れた取組み

プロジェクトファイナンス案件に対し、地公体や商工団体、関係機関、他金融機関等と連携するとともに、将来の成長可能性（持続的な成長等）を視野に入れ、事業の育成・支援に積極的に取組みます。

② 地域活性化につながる多様なサービスの提供への取組み

地公体や商工団体、関係機関、他金融機関等と連携し、地域の賑わい創出実現に向けた仕組みを構築するとともに、多様なサービスを提供するなどし、地方創生の一助となる取組みを強化致します。

具体的な取組み内容

成 果

- プロジェクトファイナンス案件に対し、地公体や商工団体、関係機関、他金融機関等と連携するとともに、将来の成長可能性（持続的な成長等）を視野に入れ、事業の育成・支援に積極的に取り組む
- 地公体や商工団体、関係機関、他金融機関等と連携し、地域の賑わい創出実現に向けた仕組みを構築するとともに、多様なサービスを提供するなどし、地方創生の一助となる取組みを強化

- 平成30年度より取組みしている「農畜連携による社会課題解決と地域循環型産業育成構想」を具現化すべく、令和2年度も引続き、氷見市の養豚業者様と北海道の帯広畜産大学、ならびに一般財団法人地域未来創生機構や地域循環型産業育成構想に賛同いただいた事業者様と連携し、アニマルウェルフェア（動物・家畜福祉）の考えに沿い、耕作放棄地を活用した放牧による養豚業の定着を推進するための支援を行いました。
- 当金庫が拠点を置く富山県射水市新湊地区（バイエリア西地区）において、交流人口の拡大による観光客の増加、それに伴う各種店舗（飲食店・宿泊施設等）の誘致を図り、人の流れを作り地域の活性化に繋げることが重要であることを踏まえ、当金庫では地域創生推進スキーム「SCBふるさと応援団事業」にて、射水市が国より認定を受けている地域再生計画「射水市まち・ひと・しごと創生推進計画」に基づく「スポーツ施設を核とした地域活性化事業」を推薦し、地公体（富山県射水市）との連携、取組みを強化致しました。

地域全体の活性化、
視野に入れた取組み、
持続的な成長を